【東久留米市】

校務ＤＸ計画

令和５年３月にＧＩＧＡスクール構想の下での校務の情報化の在り方に関する専門家会議より「ＧＩＧＡスクール構想の下でのＤＸについて～教職員の働きやすさと教育活動の一層の高度化を目指して～」が公表され、日本型学校教育を支える基盤としての校務ＤＸ（次世代の校務ＤＸ）の在り方等について、現状と課題を整理した上で、関係省庁の施策や中央教育審査会における検討の方向性と整合する形で、具体的なビジョンと講じるべき施策が示されました。

当市では、令和７年度に一人１台端末の入れ替えを行うとともに、校務系・教育系システムそれぞれのクラウド化を行い、情報セキュリティの向上を図ってまいります。

また、教職員については、校務支援システムのグループウェアやシステム機能を活用し、学校での伝達事項や教務、学籍、成績管理等の情報をデジタル化し、教職員間で幅広く業務で利活用しています。

今後、教育の情報化においては、教職員の異動する際の負担軽減やデータ標準化の観点からシステム共有化、ＧＩＧＡスクール構想による１人１台端末の学習系ネットワークと児童・生徒の個人情報等を取り扱う校務系ネットワークとのデータのやり取りの効率化に向けて、ネットワーク統合やアクセス制御による十分なセキュリティ対策を講じたゼロトラストに基づく環境の整備を、国や他の自治体の動向を捉えつつ、次世代の校務支援システムの共同調達の可能性も踏まえて検討してまいります。また、校務の効率化、ペーパーレス化についても、ＦＡＸでのやり取りの原則廃止、不要な押印の見直し及び不合理な手入力作業の見直しを前提として、検討してまいります。